

研究結果

研究テーマ： 「ベトナムの漢文説話と中国、日本との比較研究」

本研究は、ベトナムの漢文説話と中国、日本との比較研究の考察を通じて、日本とベトナムの説話の起源を明らかにし、両国の民間文学の創造性・民族性を探究し、その特徴を明らかにすることを目的としている。

ここに述べた研究目的を達成するために、日本と中国で収集した資料を精査し、ベトナムの漢文説話における「鬼神世界」、「強力人物」、「空間・トポス・場」「話型・モチーフ」について種々比較し且つ検討した。

3月18日～24日の間、中国・北京大学・日本研究センターで開催された国際シンポジウムに、私の代わりに Nguyen Thi Oanh 氏が参加し、その時点までに行った比較研究の結果の一部を、「ベトナムの漢文説話における鬼神について—『今昔物語集』『搜神記』」と題して発表した。その発表では、まずベトナムの漢文説話における鬼神観念について概説し、次いでベトナムの漢文説話における靈験空間（自然空間：木、池・社会空間：寺院、堂、亭・墓など）について考察し、最後に、ベトナム・日本・中国の説話における鬼退治について比較考察した。この発表の主眼は、ベトナム・日本・中国それぞれの説話の中にどんな共通点と相違点があるのかを検証し、また、これらの国の伝承文学の創造性、民族性を研究することによって、その特徴を明らかにことであった。

また、「ベトナムにおける「強力人間」について—『今昔物語集』『搜神記』との比較」というテーマについて現在、研究を進めており、この研究成果を本年（2010年）10月末にハノム研究所で開催される国際シンポジウムで発表することになっている。

以上の二つの論文をとおして、ベトナムと日本の古典文学がインドと中国の仏教という共通の起源から、それぞれの歴史的条件や風土に適した発展を遂げていったことが明らかになるであろう。また、「鬼退治」「強力人間」に関するモチーフを比較すると、いずれも世界の或いは中国の説話や伝承を色濃く反映するモチーフであることが明らかになるのである。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等) :

題名 : 「ベトナムの漢文説話における鬼神について－『今昔物語集』『搜神記』との比較」

発表者 : Trinh Khac Manh / Nguyen Thi Oanh

対象 : 北京大学・日本学研究センターの学生、大学院生及び日本の各大学・日本学研究センターの若手研究者

場所 : 北京大学・日本学研究センター

日時 : 2010年3月18日－21日

題名 : 「ベトナムにおける「強力人間」について－『今昔物語集』『搜神記』との比較」

発表者 : Trinh Khac Manh / Nguyen Thi Oanh

対象 : ハノイ国家大学他ベトナムの主要大学の学生/大学院生/若手研究者、北京大学・日本研究センターの若手研究者及び日本からの若手研究者

場所 : ハンノム研究所

日時 : 2010年11月2日

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等) :

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等) :

題名 : 「ベトナムの漢文説話と中国、日本との研究比較」

著者名 : Trinh Khac Manh / Nguyen Thi Oanh

出版社 : 社会科学出版社

発行時期 : 2011年12月(予定)